

1日目

11月22日

大会スケジュール

11:00

ふれあい広場オープン 販売・交流

【会場】菊池市文化会館（芝生広場） 【時間】11:00～16:30

菊池地域の観光物産の販売、ボランティア団体・福祉施設の展示販売を行います。



※写真はイメージです

12:00

受付

13:00

オープニングアトラクション




13:30

開会式



14:30

分科会(第1～第3分科会)

分科会	第1分科会	第2分科会	第3分科会
	挑 戦	交 流	地 域
テーマ	～人生終盤こそ輝け!! スーパー高齢者～	～わくわく科学遊びに かたらんね～ 作って・遊んで・人の輪を	～心つながる ボランティアの わ(輪・話・和)～
会 場	菊池市文化会館大ホール	菊池市文化会館小ホール	菊池市福祉会館
定 員	500名	150名	100名
内 容	<p>《講 師》 陸上世界記録保持者 守田 満氏 69歳の時、町内の運動会 まで走り活躍したことを きっかけに、マスターズ大 会に出場、陸上競技を始め た。現在は5種目の世界記 録保持者であり、「100歳 までは走りたい」と、年齢を感じさせないス ーパーウーマンである。</p> 	<p>《協 力》 大津町立大津中学校 校長 隅倉 雄一氏 気軽に科学に触れ合え るよう、ボランティアで 科学体験の講師を行 う。誰でも簡単にできる 科学体験を通して、参加 者が楽しく交流し、語り合いながらボランテ ィア同士の新しい出会いとつながりを図ります。</p> 	<p>《コーディネーター》 熊本学園大学 社会福祉学部長 和田 要氏 子どもや高齢者の見守り 活動、ふれあいサロンな ど、日頃から地域の中で活 躍するボランティアの方々 の活動事例や体験談を聞き、また、そこに集う参 加者との意見交換を行い、ボランティア活動に 対する造詣を深めます。</p> 

16:00

分科会終了

17:00

交流会受付

18:00

交流会

20:00

交流会終了

◆会場

菊池温泉 笹乃家
コンベンションホール「芙蓉」

菊池の温泉と料理を楽しみながら、交流しませんか？
歓迎のアトラクション等を準備し、お待ちしております。



2日目

11月23日

大会スケジュール

9:00

ふれあい広場オープン 販売・交流

【時間】9:00~13:00

9:30

オープニングアトラクション

10:00

記念講演

演題

「栄光からの挫折、そして再び世界へ」

Dilango Racing TEAM Driver

青木 拓磨



青木 拓磨プロフィール

元ロードレースライダー、現ラリー>ドライバー。1995年と1996年に全日本ロードレース選手権スーパーバイククラス2年連続チャンピオンを獲得。

1997年にはロードレース世界選手権GP500クラス(現motogp)に初フル参戦。

初めてのコースでも戦闘力の劣る「ホンダNSR500V」で表彰台を獲得し、初参戦にして年間ランキング5位を獲得。

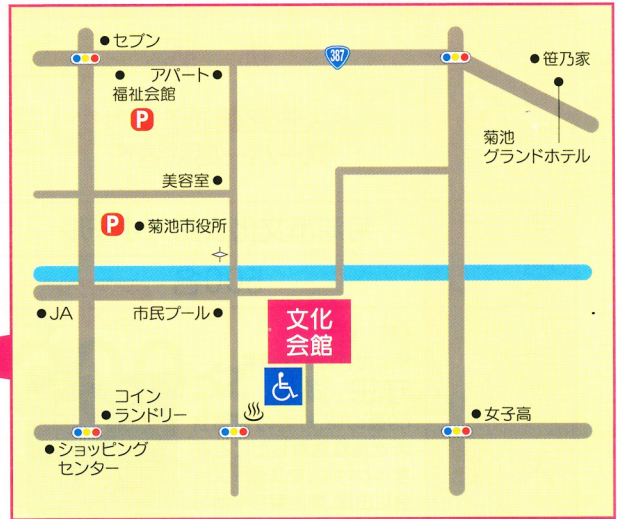
しかし、1998年に開幕前の栃木にあるホンダテストコースでテスト中の事故で脊髄損傷し、下半身不随となる。現在はレーシングドライバーとして、ダカールラリーやGTアジアに参戦するなどレースに出場し「優勝」することを目指して挑戦している。

また、未来を担う青年やハンディをもつすべての人に、「夢をあきらめない、挑戦し続けることの素晴らしさ」を伝えるべく、笑顔と勇気を届けるため、全国各地で講演会や訴求活動をしている。

11:30

引継式・閉会式

会場までのアクセス



大会に関するお問い合わせ先

◎第8回火の国ボランティアフェスティバル菊池実行委員会事務局 (菊池市社会福祉協議会内)

〒861-1331

TEL:0968-25-5000

熊本県菊池市隈府888(菊池市福祉会館内)

FAX:0968-25-5432

◎熊本県社会福祉協議会(熊本県ボランティアセンター)

〒860-0842

TEL:096-324-5436

熊本市中央区南千反畑町3-7(熊本県総合福祉センター内) FAX:096-324-5427

参加申し込みに関するお問い合わせ

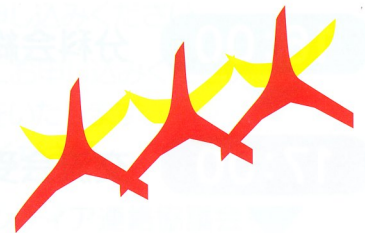
◎名鉄観光サービス(株)

〒860-0804

TEL:096-354-4351

熊本市中央区辛島町5-1(日本生命熊本ビル)

FAX:096-354-4359



「火の国ボランティアの星」

赤い「人」と金色(黄色)の「V」が組み合わさって、熊本県民の「熱心」とボランティアの「輝き」を表現しています。また、右肩上がりに3つの星が並ぶ図案は、手を取り合ってボランティア活動を広げ、成長させようという私たちの意思を表しています。